

(写)

事務連絡  
令和5年8月16日

都道府県 家畜衛生主務課長 殿

農林水産省消費・安全局  
動物衛生課家畜防疫対策室長

南樺太における野鳥での高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）  
感染事例について（情報提供）

日頃から家畜衛生の推進に御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、ロシア家畜衛生当局から国際獣疫事務局（WOAH）に対する本年8月4日付け報告によると、南樺太において、死亡野鳥（ウミスズメ科（Alcidae）の野鳥（種未同定））における高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1 亜型）による感染が3件確認されました（別紙）。

野鳥の専門家によれば、ウミスズメ科は沿岸部に生息し、まとまって日本に飛来することが注目される鳥種ではないものの、南樺太については、シギ・チドリ類など8月上旬からこの地域を経て北海道や東北に渡ってくる鳥種もいるほか、秋にはカモ類の飛来ルートにもなるため、この時期に同地域での多数の感染事例が確認されたことは、今後、我が国へのウイルス侵入リスクに関する情報として重要との見解です。

高病原性鳥インフルエンザの防疫対策については、先月取りまとめられた昨シーズンの発生に係る疫学調査報告書等を踏まえ、家きん飼養農場における衛生対策指導を進めていただいておりますが、今般の事例も踏まえ、改めて発生予防対策及び発生に備えた防疫対策の徹底について万全を期していただくよう、家きん飼養農場、畜産関係者、市町村、関係機関、関係団体等への御指導につき、よろしく申し上げます。

【問合せ】

農林水産省消費・安全局動物衛生課  
家畜防疫対策室 山木、石川  
TEL：03-3502-8292

(参考) ロシア当局から国際獣疫事務局への報告の概要

疾 病：高病原性鳥インフルエンザウイルス感染（野鳥等）

原 因：高病原性鳥インフルエンザウイルス

亜 型：H5N1

開始日：2023年7月20日

確認日：2023年7月27日

報告日：2023年8月4日

<事例1> 開始日：2023年7月20日  
場 所：サハリン州ドリンスク市  
動物種：ウミスズメ科（種未同定、野鳥）  
症例数：1（死亡）

<事例2> 開始日：2023年7月25日  
場 所：サハリン州マカロフ市  
動物種：ウミスズメ科（種未同定、野鳥）  
症例数：242（死亡）

<事例3> 開始日：2023年7月25日  
場 所：サハリン州コルサコフ市  
動物種：ウミスズメ科（種未同定、野鳥）  
症例数：1（死亡）



※報告の詳細は以下を御参照ください。

<https://wahis.woah.org/#/in-review/5161?reportId=162142>